



第32回九州フランス語コンクールで優勝したガンフヤグ・エルデネソロンゴさん



初心者のための九州フランス語コンクールで優勝 言語の力で世界中の人をつなげたい

総合科学部国際共創学科2年生
ガンフヤグ・エルデネソロンゴさん
(モンゴル出身)

1998年、モンゴル・ウランバートル出身。中学3年生(モンゴルは9年生)までモンゴルのロシア経済学校と音楽学校で学んだ後、日本に留学。日本航空高校卒。2018年、広島大に入学した。

■コンクール優勝の瞬間

コンクールには24人の学生が参加し、それぞれのテーマでスピーチを行いました。表彰式では、最後の最後に名前を呼ばれて「優勝です」と。うれしいというより信じられなかったですね。

■応募の動機

大学では、昨年4月に新設された国際共創学科(IGS)に所属しています。第二外国語でフランス語を専攻していて、フランス語を続けるモチベーションになればと応募しました。

■国際共創学科

学生の半数は留学生です。授業は英語で行い、世界中から集まった学生が文化と観光、平和とコミュニケーション、環境と社会という3つの視点で、国際舞台で求められる多角的視野や思考力を身に付けていきます。さまざまな国籍の学生と共に学ぶ中で異文化を知り、自分の考えを問い直し

たり、新たな発見をしたりする毎日で、私を成長させてくれる学科です。

■国境を超えて踊る

今回のコンクールで話をしたテーマです。私は小さいときからクラシック・バレエを習ってきて、バレエでフランスという国を知り、さまざまな国の人たちと交流することができました。その経験と大学で学んできたことを生かし、国は違っても芸術には国境の壁がないことを話しました。

■広島が好き

私は15歳でモンゴルを離れ、高校から日本に留学しました。高校時代(石川県・日本航空高)の親友が広島出身で彼女の家にもホームステイしたこと、高校3年のとき全国総合文化祭に出場するために広島を訪れたことが縁で、広島のことを大好きになりました。だから、広島大にIGSが新設されることを知り、大学進学の際も迷わ

ず広島大を選びました。

■東広島のこと

自然が豊かで、特に秋は紅葉がとてもきれいです。高校時代を過ごした能登の街と似ています。英会話カフェで市民に英会話を教えていますが、皆さん、外国人に対してオープンで、年配の人は今をととても大切にされて生きている人が多いと感じています。戦時下のつらい思いを経験してきたことが、今を大切にしたいという思いにつながっているのでしょうか。

■夢

母国語を除いて4カ国語を勉強していますが、もっと言語を極めて、言葉の力で、文化や慣習の違う世界中の人をつなげる橋渡し役を務めたいと思っています。世界は一つ。世界中の人たちが分かり合い、手を取り合っていけるよう、私なりに頑張っていきたい、と思っています。